

入 札 説 明 書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則(平成17年米子市規則第106号)及び米子市会計規則(平成17年米子市規則第44号)を承知のうえ参加してください。

記

工事希望型指名競争入札に付する工事	工 事 名		農集マンホールポンプ場ポンプ更新工事		
	工 事 場 所		米子市内各マンホールポンプ場内	工期	契 約 日 から 令和6年3月29日まで
契 約 条 項 を 示 す 場 所		米子市総務部契約検査課			
担 当 課		施設課			
入札保証金に関する事項		入札保証金		免除	
現 場 説 明 会		なし			
開 札 の 日 時 及 び 場 所		日時 場所	令和6年1月30日 午前10時40分 開札 本庁舎202会議室		
契 約 保 証 に 関 する 事 項	請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1) 契約保証金の納付 (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。))の保証 (4) 公共工事履行保証証券による保証 (5) 履行保証保険契約の締結				
前 払 金	有	40%以内 ※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る			
部 分 払	有	回数は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可			
入札に関する注 意 事 項	1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6. 落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。 7. 本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3(ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。))以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。 8. 入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする 9. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格(円未満切捨て(単価契約を除く。))とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。 10. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。 11. 入札回数は、1回とする。				
そ の 他 の 注 意 事 項	1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事(通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。)に3件を超えて従事することはできないものとする。 4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5. 工事現場に配置する技術者等(主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。)は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係(第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。)が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。				
施工に関する注 意 事 項	1. 工事設計図書 別紙のとおり 2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するよう努めること。 4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。				
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格					
最低制限価格 (直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の8/10＋一般管理費の5.5/10)×1.1					

工 事 設 計 書

令和5年度 下水道事業会計	下水道部 施設課	＊	課長	担当 課長 補佐	合議	審査	設計
	下水道部 下水道企画課	/	課長	担当 課長 補佐	合議		/

工 事 件 名	農集マンホールポンプ場ポンプ更新工事	工期	契約日～令和6年3月29日
施 工 場 所	米子市内 各マンホールポンプ場内		

設 計 金 額 ￥ 円也

費 目	円	(内訳)	年度	年度	備 考
本工事費					
計					

説 明	内 容
本工事は米子市内のマンホールポンプ場において、ポンプの更新を行うものである。	1. 水中ポンプ機器費 1 式
	2. 水中ポンプ撤去、設置 1 式

工事費総括					
費 目	工 種	種 別	細 別	金 額 (円)	摘 要
本工事費					
	機械設備工事				
		機器費			
		直接工事費			
		間接工事費			
		一般管理費等			
	計 工事価格				
消費税相当額					
本工事費計					

工 事 費 内 訳 書

種 別	細 別	形状寸法	数 量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要
本工事							
機械設備工事							
[機 器 費]							
	水中ポンプNo.1	下泉2号	2	台			
	水中ポンプNo.2	諏訪3号	2	台			
	水中ポンプNo.3	諏訪7号	1	台			
	水中ポンプNo.4	福井2号	1	台			
	水中ポンプNo.5	八幡2号	1	台			
	水中ポンプNo.6	本宮	2	台			
	水中ポンプNo.7	諏訪4号	2	台			
	水中ポンプNo.8	諏訪5号	2	台			
	水中ポンプNo.9	奈喜良2号	2	台			
	水中ポンプNo.10	二本木	2	台			

工 事 費 内 訳 書

種 別	細 別	形状寸法	数 量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要
	水中ポンプNo.11	二本木東3号	2	台			
	水中ポンプNo.12	箕1号	2	台			
	水中ポンプNo.13	大谷1号	1	台			
	水中ポンプNo.14	尾高5号	2	台			
	水中ポンプNo.15	橋本1号	1	台			
	水中ポンプNo.16	八幡1号	2	台			
	水中ポンプNo.17	奥谷3号	2	台			
	水中ポンプNo.18	吉谷1号	1	台			
	水中ポンプNo.19	橋本2号	1	台			
	水中ポンプNo.20	奥谷1号	1	台			
合 計 (機 器 費)							
[直 接 工 事 費]							
	輸送費		1	式			第1号明細書

工 事 費 内 訳 書

種 別	細 別	形状寸法	数 量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要
	小 計						[輸送費]
	一般労務費		1	式			第2号明細書
	小 計						(一般労務費)
	機械設備据付労務費		1	式			第3号明細書
	小 計						(機械設備据付労務費)
	計						[労務費]
	機械経費		1	式			
	小 計						[直接経費]
	仮設費(率)		1	式			
	仮設費積上		1	式			
	小 計						[仮設費]
合 計 (直 接 工 事 費)							
[間 接 工 事 費]							

工 事 費 内 訳 書

種 別	細 別	形状寸法	数 量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要
	共通仮設費(率)		1	式			
	共通仮設費積上		1	式			第5号明細書
	小 計						[共通仮設費]
	現場管理費		1	式			
	小 計						[現場管理費]
	据付間接費		1	式			
	小 計						[据付間接費]
合 計 (間 接 工 事 費)							
	据付工事原価						
計 (工 事 原 価)							
[一 般 管 理 費 等]							
	一般管理費等		1	式			
	計						(一般管理費等)

工 事 費 内 訳 書							
種 別	細 別	形状寸法	数 量	単位	単価(円)	金 額 (円)	摘 要
合 計 (工事価格)							
[消費税等相当額]			1	式			
本 工 事 費 計							

第 1 号 明 細 書						
輸送費						
種 別	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
輸送費	片道230km	1	回			
計						

第 2 号 明 細 書						
一般労務費						
種 別	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
普通作業員			人			
電工			//			
計						

第 4 号 明 細 書		仮設費積上				
種 別	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
交通誘導員B			人			

第 5 号 明 細 書						
準備費						
種 別	形 状 寸 法	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
運搬費	23.5km以下	1.53	t			
処分費	金属くず	1.35	m3			
計						

1 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適性化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い同指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。
- (5) 共同企業体が工事を請け負う場合、構成員による下請けは行わないこと。

2 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、鳥取県が定める「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。
- (5) 工事に使用する資材については、極力有害性VOC（揮発性有機化学物質）発生量の少ないものとするよう努めること。

3 工事の安全確保について

- (1) この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。
- (2) 労働安全衛生法第59条、第60条の2に定める安全衛生教育を実施するほか、工事着手後、作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割り当てて、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施するものとし、施工計画書に実施項目について記載するものとする。

- (3) この契約に係る工事の施工中に事故が発生した場合は、事故報告書（米子市建築工事等事故関係事務処理マニュアルに定める様式）を提出すると共に、建設工事事務データベースの「事故報告書」についても速やかに提出するものとする。

4 建設機械の使用について

- (1) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
(2) 施工現場の快適性を高めるため、排出ガス対策型建設機械の使用に努めること。

5 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和 42 年法律第 131 号）の目的に鑑み、同法第 12 条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

6 ダンプトラック等、による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
(2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
(3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
(5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当って、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
(6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
(7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
(8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

7 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

8 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加済済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
(2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入並びに証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。
- (4) 請負業者は、建退共の発注者用の掛金収納書を原則として契約締結後 1 ヶ月以内に提出しなければならない。

9 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第 26 条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1 級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第 40 条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

10 労働基準法等の遵守

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週 40 時間を遵守すること。

11 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 鳥取県暴力団排除条例（平成 23 年 3 月鳥取県条例第 3 号）に基づき、暴力団、暴力団員又はこれらの利益につながる活動やこれらと密接な関係を有するなどの行為を行わないこと。
- (2) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (3) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

12 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3 か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と

所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者の有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成 25 年法律第 41 号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

16 契約方式について

本工事は総価契約方式を採用しており、設計図書に示された条件などに変更がある場合は契約を変更することができる。契約変更を行う場合には、変更設計額に当初の契約の請負比率を乗じ、変更請負代金額を算出する。

17 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) 本来一体とすべき同一敷地内又は同一敷地内（隣接した敷地を含む）の工事を分割して発注し、新規に発注する工事（以下、「後工事」という。）を現に施工中の工事の受注者と随意契約しようとする場合の共通仮設費は、契約済みの全ての工事（以下「前工事」という。）と後工事を一括して発注したとして算出した共通仮設費の額から、前工事の共通仮設費の額を控除した額とする。なお、後工事が複数ある場合は、その合算工事費を対象とする。
- (3) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (4) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (5) 特定フロンの使用の削減に努めること。
- (6) 労務費については、法定労働時間週 40 時間を考慮したものとしている。
- (7) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。
- (8) 契約書第 25 条第 5 項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第 26 条第 5 項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第 26 条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第 25 条」と読み替えるものとする。

契約書第 25 条第 6 項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）（営繕工事版）」に基づき請求を行うこと。

特 記 事 項 [施工条件明示事項]

※ 番号、・に□印のあるものについて適用する。

明示項目	明 示 事 項	条 件
仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる最新の仕様書等によること。 ☐ 日本下水道事業団機械設備工事必携 ☐ 日本下水道事業団電気設備工事必携 ☐ 日本下水道事業団機械設備工事一般仕様書 ☐ 日本下水道事業団電気設備工事一般仕様書・同標準図 ☐ 日本下水道事業団機械設備標準仕様書	
1 工 程	1. 他工事との調整 2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限 3. 関係機関等との協議 4. 工事の指定部分 5. 地下埋設物等の調査 地下埋設物の移設が予定されている場合。	工事名 <u>大谷1号ほか農集マンホールポンプ場通報装置更新工事</u> 上記工事との連絡及び工程の調整を図ること。 制限される工事 ・ポンプの更新 制限の内容 <u>一機場で2台更新の場合1台ずつ更新を行うこと。</u> 本工事において、関係法令上必要あれば、関係機関と協議を行うこと。 令和 <u> </u> 年 <u> </u> 月 <u> </u> 日までに完成させること。 については、 ・ は事前調査を行い処理すること。 ・ は調査済である。 移設期間 <u> </u>
2 用 地	1. 工事用車両の駐車場	・ 駐車場がないため確保する必要がある。 ・ 敷地内に一部確保できる。 ☐ 原則として敷地内で確保するものとするが、不足を生じる場合には、別途確保すること。
3 公 害 対 策	1. 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	内 容 <u>関係法令を遵守すること。</u>
	2. 工事の施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合。	・ 近隣家屋等の <u>・ 事前事後の状況の写真を付して記録し</u> ・ 事後 (<u> </u>) の調査を行い、万全を期して施工すること。 ・ 工事概要について住民説明を行うこと。 ・ 近隣住民からテレビ受信障害及び工事に伴う損害が報告された場合、直ちに監督員等に連絡すると共に、市が行う対応等に協力すること。
4 安 全 対 策	1. 交通安全施設等の指定	☐ 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。 ・ 交通整理の必要日数 <u>8</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計 <u>0</u> 名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計 <u>16</u> 名（交代要員[☒・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
5 工 事 用 道 路	1. 一般道路を搬入路として使用する場合。 ・ (7) 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等に制限がある場合。 ・ (4) 搬入路の使用中和及び使用後の処置が必要である場合。 2. 仮道路を設置する場合	・ 運搬路及び周辺敷地並びに工作物に対し損傷を与えないよう予防措置を講じ、また損傷を与えた場合は、速やかに原形に復すこと。 ・ 制限の内容 ・ 処置の内容 ・ 幅員 <u> </u> m ・延長 <u> </u> m ・切込碎石 厚 <u> </u> cm ・その他 ・ 工事終了後の処置

明示項目	明 示 事 項	条 件
仮設備	[1]. 仮囲い等の範囲、構造	☐ 工事範囲をバリケード等により明確にすること。 ・敷地周囲に仮囲いを設置し、その施工範囲、仕様等は図示による。 ・山留めは _____ 工法とし、その施工条件は図示による。 ・各工事共通の揚重機械として _____ を設置しその施工条件は図示による。 ・敷地周辺の _____ 部分を鉄板敷きにより養生し、その施工範囲、仕様等は図示による。 ☐ その他労働安全衛生法に基づく仮設備
建設副産物の処理	1. 建設発生土の処理 ・(ア)他工事等流用 ・(イ)建設技術センター ・(ウ)民間残土受入地 2. 分別解体等 [3]. 再資源化施設への搬出 (施設の名称・受入れ費用) (受入れ時間帯) (受入れ条件) 4. 最終処理等 [5]. 産業廃棄物処理 6. 産業廃棄物の処理に係る税	建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ 工事現場に運搬(片道運搬距離 _____ km)するものとする。 建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離 _____ km)するものとする。 なお、処理費として1m ³ 当たり _____ 円をセンターに支払うこと。 建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ に運搬(片道運搬距離 _____ km)するものとする。なお、処理費として1m ³ 当たり _____ 円を _____ に支払うこと。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を見込んでいる。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。 なお、再資源化施設への搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊 _____ 米子 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円 コンクリート塊 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円 建設発生木材 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円 その他(金属くず) _____ 米子 市・町・村 _____ 和田町 地内の _____ 株式会社山陰クリエート (運搬距離 23.5 km)、費用1m ³ 当たり 6,000 円 8時～17時(平日) ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____ cm以下、長さ _____ m以下であること。 エ 2次公害発生のおそれのある物質(廃油等)を含まないこと。 _____ については、_____ 市・町・村 _____ 地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離 _____ km)を想定し、その費用として1t当たり _____ 円を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。 建設工事等から生じる廃棄物の処理については、関係法令を遵守すること。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、 _____ 円見込んでいる。
建設副産物の使用	1. 建設発生土の使用 2. 再生資源の使用	_____ 工事から[当該工事運搬・相手方運搬]の建設発生土を受入れ、使用箇所: _____ に使用する。 ア Co雑割材は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所: _____ に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、 _____ 工事から運搬し、使用箇所: _____ に使用する。 ウ ・再生クラッシャーラン[規格: Rcc-40]は、使用箇所: _____ に使用する。 ・再生コンクリート砂[規格: RS- _____]は、使用箇所: _____ に使用する。 エ 再生加熱アスファルト混合物[規格: _____]は、使用箇所: _____ に使用する。 オ その他再生資材[資材名: _____][規格: _____]は、使用箇所: _____ に使用する。

明示項目	明 示 事 項	条 件
9 支 障 物 件	1. 地上、地下等に占用物件等の工事支障物件が存在する場合。	移設・撤去 防護等の方法 _____ _____ _____
10 濁 処 水 理	1. 排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	工法 処理の方法 放流先 _____
11 そ の 他	①. 工事实績情報の登録 2. 支給材料及び貸与品がある場合 3. 工事事業電力等を指定する場合 4. 景観への配慮 ⑤. そ の 他	工事請負代金額500万円以上の工事について、受注時は工事契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に工事实績情報として「工事实績データ」を作成し、監督員に確認を受けた後、(財)日本建設情報総合センターにインターネット等により登録するとともに、同センター発行の「登録内容確認書」を監督員に提出するものとする。 品 名 _____ 数 量 _____ 品質、規格又は性能 _____ 引渡場所 _____ 引渡時期 _____ 内 容 _____ ア 本工事は、景観法に基づく通知対象行為である。 イ 通知対象行為の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。 ・ 工事の施工に際し、住民説明会を開催する予定であるので協力すること。 ・ 近隣住民等に対し安全及び騒音振動対策を十分に講じること。 ・ 契約図書の作成は、落札者において行うこと。 ・ アルミニウム製建具の製造所は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価名簿に記載されている製造所とすること。 ・ 当該営繕工事の予定価格は、材料及び労務単価を見直した令和 年度営繕工事設計標準価格(令和 年 月改訂版)により算出している。 ・ 試運転に伴う本受電後の電力基本料金及び電気工作物保安管理費は、落札者において負担すること。 ・ 本工事で適用する標準仕様書などの各基準について、改定により最新版が存在する場合は、監督員と協議を行い施工すること。 ・ 火災保険等の加入期間は、工期+30日とすること。 _____ _____ _____

農集マンホールポンプ場ポンプ更新工事

特記仕様書

令和5年

米子市下水道部

目 次

第1節 総 則	1
§ 1. 一般事項	1
§ 2. 工事区分と工事内容	1
第2節 機械設備	2
§ 1 水中ポンプ	2

第1節 総 則

§ 1. 一般事項

1. 工事名称 農集マンホールポンプ場ポンプ更新工事
2. 施工場所 米子市内 各マンホールポンプ場
3. 適用範囲

(1) 本仕様書は、農集マンホールポンプ場における機械設備の施工に適用するものであって、法令その他、特別に定めるものの他は全て、日本下水道事業団発行の機械設備工事一般仕様書(以下一般仕様書という)及び機械設備工事必携(施工編)(以下工事必携という)及び設計図面、特記仕様書(以下仕様書という)に準拠し、一般仕様書、工事必携、設計図面及び仕様書に記載されていない事項及び詳細については全て、監督員の指示によるものとする。

また、火災保険等に参加するものとする。保険期間については、着工日から工期末後30日とする。

§ 2. 工事区分と工事内容

1. 概 要

本工事は下記の工事区分の一切を施工するもので、請負人は設計図を参考に参照すると共に、本市監督員と設計打合せを行い、監督員の指示するものについては詳細なる施工図を提出すること。

試運転については、十分運転が可能な状態にて引き渡すものとし、運転が円滑に行えることを十分に確認すること。

2. 工事区分

(1)機械設備工事

3. 工事内容(農集マンホールポンプ場)

種 別	細 別	単位	数量	施工内容	摘要
機械設備	水中ポンプ	台	32	更新	

第2節 機械設備

§1 水中ポンプ

1. 使用目的

本ポンプは、マンホールに集水した汚水を揚水するものである。

水中において連続運転に耐える堅牢な構造とする。

本ポンプは、振動や騒音が少なく、円滑に運転できるとともに、特に有害なキャビテーション現象が発生しない構造とする。

2. 仕様

各機上の仕様については図番3-3を参照し、既設機器の仕様については下記及び添付資料を参照すること。

下泉2号 泉34

諏訪3号 諏訪1642

諏訪7号 諏訪625-6

福井2号 福井239-3

八幡2号 福市2269-2

本宮241-1

本宮 ポンプ仕様：新明和工業株式会社製

型式：MP3067.170.298

0.075Q-6H Y 1.2KW COS ϕ 0.85

200/220V 5.1/4.6A 60Hz S1%

諏訪4号 八幡924

諏訪5号 諏訪85番地先

奈喜良2号 奈喜良232-12地先

二本木 二本木420-1

二本木東3号 二本木959-1

箕1号 平岡4-1

大谷No.1 榎原485-8

尾高5号 尾高2773番地1

橋本No.1 橋本723-1

八幡1号 八幡685-9

奥谷3号 奥谷1040-2

吉谷1号 吉谷678

橋本No.2 橋本768

奥谷1号 奥谷1159-16

3. 工事範囲

接続するコネクション、ガイドパイプ（ホルダ）は既設使用とする。

スライド部は今回更新ポンプに含むものとする。

電動機選定に当たっては、制御盤等の電気装置の改造が必要な場合は、受注業者負担で工事を行うものとする。

電気設備工事はマンホール内から制御盤までとする。

4. 標準仕様書

第1章第1節 § 7

御注文主 CUSTOMER		殿	数 量 QUANTITY	2	台 SET	下泉2号																																																																			
1. ポンプ <table border="1"> <tr> <td>形 式</td> <td>50ACVL</td> <td>吐出口径</td> <td>50</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>吐 出 量</td> <td>0.18 m³/min</td> <td>揚 程</td> <td>3.6</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>羽根車番号</td> <td>CVL4-2S</td> <td>接続型番</td> <td>P50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ質量</td> <td>29.0 kg</td> <td>接続型番セット質量</td> <td>11.0</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td>塗 装</td> <td>ターミキ樹脂塗料(3回塗)</td> <td>コネクション質量</td> <td>4.5</td> <td>kg</td> </tr> </table> 2. 電動機 <table border="1"> <tr> <td>種 類</td> <td>乾式水中形誘導電動機</td> <td>極 数</td> <td>4</td> <td>P</td> </tr> <tr> <td>定格出力</td> <td>0.4 kW</td> <td>周 波 数</td> <td>60</td> <td>Hz</td> </tr> <tr> <td>定格電圧</td> <td>200 V</td> <td>始動電流</td> <td>9.8</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>定格電流</td> <td>2.5 A</td> <td>始動方式</td> <td>直 入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>絶縁階級</td> <td>E 種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護装置</td> <td>オートカット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 3. 付 属 品 (1)ケーブル VCT 1.25 mm² × 10m × 4 心 外径 φ11.5.(動力用) 1本/1台 (2)自動接続セット <table border="1"> <tr> <td>・コネクション..... 1組/1台</td> <td>・ガイドホルダ(SUS304)..... 1組/1台</td> </tr> <tr> <td>・スライド..... 1組/1台</td> <td>・チェーン(SUS304×6m)..... 1本/1台</td> </tr> <tr> <td>・シャックル..... 1組/1台</td> <td></td> </tr> </table> (3)ベルマウス(SUS304) 1組/1台 4. 付属書類 <table border="1"> <tr> <td>性能曲線図 Y82730</td> <td>構造断面図 P08850</td> </tr> <tr> <td>外形寸法図 P71126</td> <td>接続部(構造断面・材質表) AL1007</td> </tr> <tr> <td>材 質 表 AL1491</td> <td></td> </tr> </table> 5. 性能判定基準 ポンプ性能の判定基準はJISB8301によるものとします。 吐出量、全揚程については、判定基準1によるものとします。							形 式	50ACVL	吐出口径	50	mm	吐 出 量	0.18 m ³ /min	揚 程	3.6	m	羽根車番号	CVL4-2S	接続型番	P50		ポンプ質量	29.0 kg	接続型番セット質量	11.0	kg	塗 装	ターミキ樹脂塗料(3回塗)	コネクション質量	4.5	kg	種 類	乾式水中形誘導電動機	極 数	4	P	定格出力	0.4 kW	周 波 数	60	Hz	定格電圧	200 V	始動電流	9.8	A	定格電流	2.5 A	始動方式	直 入		絶縁階級	E 種				保護装置	オートカット				・コネクション..... 1組/1台	・ガイドホルダ(SUS304)..... 1組/1台	・スライド..... 1組/1台	・チェーン(SUS304×6m)..... 1本/1台	・シャックル..... 1組/1台		性能曲線図 Y82730	構造断面図 P08850	外形寸法図 P71126	接続部(構造断面・材質表) AL1007	材 質 表 AL1491	
形 式	50ACVL	吐出口径	50	mm																																																																					
吐 出 量	0.18 m ³ /min	揚 程	3.6	m																																																																					
羽根車番号	CVL4-2S	接続型番	P50																																																																						
ポンプ質量	29.0 kg	接続型番セット質量	11.0	kg																																																																					
塗 装	ターミキ樹脂塗料(3回塗)	コネクション質量	4.5	kg																																																																					
種 類	乾式水中形誘導電動機	極 数	4	P																																																																					
定格出力	0.4 kW	周 波 数	60	Hz																																																																					
定格電圧	200 V	始動電流	9.8	A																																																																					
定格電流	2.5 A	始動方式	直 入																																																																						
絶縁階級	E 種																																																																								
保護装置	オートカット																																																																								
・コネクション..... 1組/1台	・ガイドホルダ(SUS304)..... 1組/1台																																																																								
・スライド..... 1組/1台	・チェーン(SUS304×6m)..... 1本/1台																																																																								
・シャックル..... 1組/1台																																																																									
性能曲線図 Y82730	構造断面図 P08850																																																																								
外形寸法図 P71126	接続部(構造断面・材質表) AL1007																																																																								
材 質 表 AL1491																																																																									
製 図 DWG.	木 下	名 称 TITLE	50ACVL-P50(0.4kW)		図 番 DWG No.	SS2521																																																																			
検 図 JUDG.	足 立																																																																								
承 認 APPD.	橋 本	仕 様 書																																																																							

御注文主
CUSTOMER

数 量
QUANTITY

2 台
SET

諏訪3号(M6010)

水中汚水汚物ポンプ
(ベルマウス付)

1. ポンプ

形 式	ACVL501	吐出し口径	65 mm
吐出し量	0.3 m ³ /min	揚 程	4.0 m
羽根車番号	—	接 続 形 番	P65B
ポンプ重量	30 kg	接続形番セット重量	20.0 kg
		コネクション 重量	14.5 kg

2. 電 動 機

種 類	乾式三相カゴ形誘導電動機		
定格出力	0.75 kW	極 数	4 P
定格電圧	200 V	周 波 数	50/60 Hz
定格電流	4.4 / 4.2 A	始 動 電 流	13.2/11.7 A
絶縁階級	E 種	始 動 方 法	直 入
保護装置	オートカット		

3. 付 属 品

(1) ケーブル VCT-1.25 mm² × . m × 4 心 外径 φ 11.5 (動力用) … 1 本

(2) 自動接続セット

・コネクション…………… 1 組	・ガイドホルダ…………… 1 組
・スライド…………… 1 組	・チェーン…………… (6m) 1 本
・シャックル…………… 1 組	
(3) ベルマウス…………… 1 組	

4. 付 属 書 類

性能曲線図 (50Hz) …… Y 8 2 7 3 1	性能曲線図 (60Hz) …… Y 8 2 7 3 2
外形寸法図 …… P 6 4 9 7 3	構造断面図 …… P 0 8 8 5 0
材 質 表 …… P 0 8 8 5 1	接続部 (構造断面図) …… H 1 5 5 4 3

5. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準は、J I S B 8 3 0 1 によるものとします。

吐出し量、全揚程については、判定基準 1 によるものとします。

CY-53760

製 図 DWG.	()	名 称 TITLE	図 番 DWG NO.
検 図 JUDG.	()	ACVL501 — P 6 5 B (0.75kW)	S 4 7 2 8 9
承 認 APPD.	()	仕 様 書	

御注文主
CUSTOMER数 量
QUANTITY

1

台
SET

諏訪7号

新明和水中ポンプ

1. ポンプ

型 式	CVC501	吐出し口径	50	mm	
吐 出 し 量	0.18	m ³ /min	全 揚 程	4	m
羽根車番号	2S	接続型番	P50		
ポンプ質量	30	kg			

2. 電 動 機

種 類	乾式水中形誘導電動機				
定 格 出 力	0.75	kW	極 数	4	P
定 格 電 圧	200	V	周 波 数	60	Hz
定 格 電 流	4.2	A	始 動 電 流	11.7	A
絶 縁 階 級	E	種	始 動 方 法	ダイレクト	
ベアリング型式	上部：6201ZZ		下部：6304ZZ		
保 護 装 置	オートカット				

3. 付 属 品

(1) ケーブル	20m			
	VCT 1.25mm ² × 4心	外径 Φ 11.5 (動力用)		1本
(2) 空気抜きバルブ				
(3) スライド		1組		
(4) ベルマウス		1組		

4. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準は、JIS B 8301 (1990) によるものとします。

吐出し量、全揚程については、判定基準1によるものとします。

製図 DWG.	向野	10・05・19	名 称 TITLE	仕 様 書	図番 DMG No. S01AA9943
検図 JUDG.	赤松	10・05・19			
承認 APPD.	赤松	10・05・19			

SUV形水中ボルテックスポンプ外形寸法図

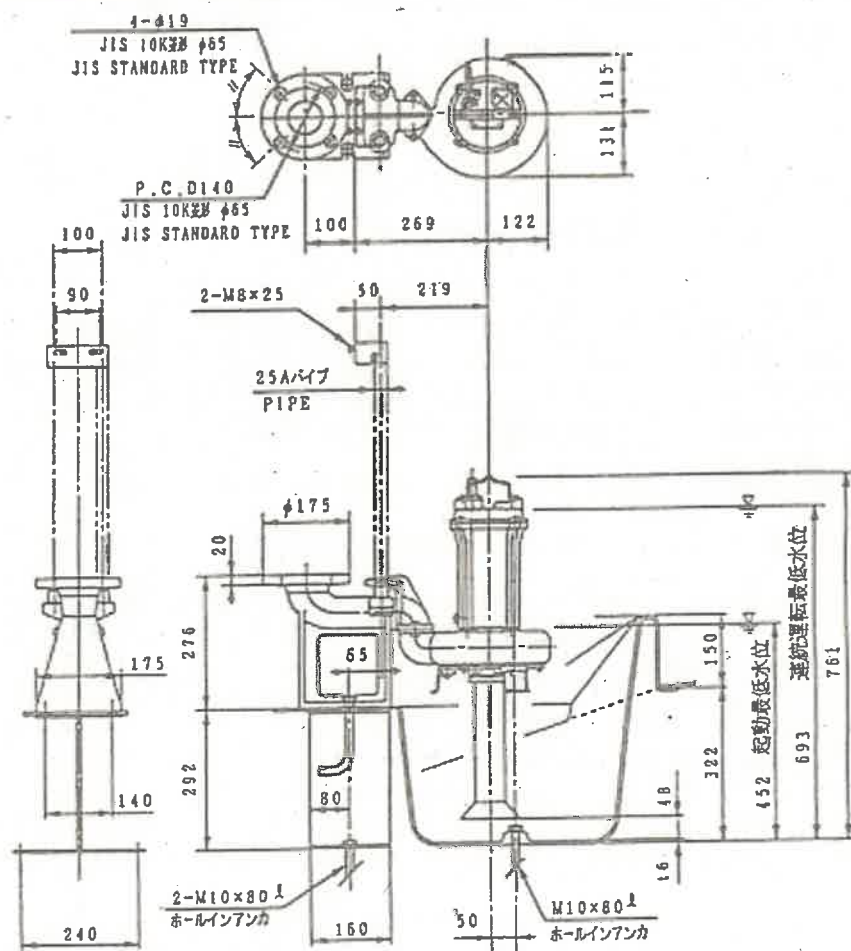
[予旋回槽付 (形式: HPR1500W)]

名称: 福井マシナリ

機器番号:

数量:

形式 TYPE FORM	SUV	モートル形式 MOTOR TYPE	乾式三相力ゴ形誘導電動機
形番 MODEL NUMBER	65-60.75	出力 MOTOR OUTPUT	0.75 (kW)
吸込口径 SECTION BORE	— (mm)	周波数 FREQUENCY	60 (Hz)
吐出し口径 DISCHARGE BORE	65 (mm)	極数 POLES	4 (P)
段数 NOS. OF STAGE	1	電圧 VOLTAGE	200 (V)
ポンプ概略質量 Wt. (PUMP)	30 (kg)	電流 CURRENT	4.2 (A)
		吐出し量 CAPACITY	0.159 (m³/min)
		全揚程 TOTAL HEAD	5.8 (m)
		回転数 SPEED	1800 (min⁻¹)
		着脱部概略質量 Wt. (CONNECTION SITE)	20 (kg)

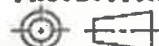


- 注意) 1. ポンプを最低水位で運転する場合は、30分間以内に制限してください。
2. 連続運転の場合は、指定の連続運転最低水位を確保してください。

- 付属品) 1. ケーブル: VCT 1. 25SQ×20m×4芯×1本 外径φ11.5 (動力用)
2. チェーン: 6m×1本 (SUS304)

- 備考) 1. 単位: mm
2. 案内棒はメーカ納入範囲外です。
3. 絶縁階級: E種
4. 保護装置: オートカット
5. 始動方式: 直入始動

PROJECTION



御注文主 CUSTOMER

殿

数量 QUANTITY

2

受注番号 ORDER NO.

1821-3280

作業番号 WORK NO.

427273

DWN

山田

CHKD

大場

APPD

高本

SUV形水中ボルテックスポンプ
外形寸法図

Hitachi, Ltd.
Tokyo Japan

NARASHINO DWG. NO.

324 4P873549

御注文主
CUSTOMER

数量
QUANTITY

2 台
SET

ハ幡2号(M6206)

水中汚水汚物ポンプ
(ベルマウス付)

1. ポンプ

形 式 ACVL501
吐出し量 0.3 m³/min
羽根車番号 —
ポンプ重量 30 kg

吐出し口径 65 mm
揚 程 3.0 m
接続形番 P65B
接続形番セット重量 20.0 kg
コネクション 重量 14.5 kg

2. 電動機

種 類 乾式三相カゴ形誘導電動機
定格出力 0.75 kW
定格電圧 200 V
定格電流 4.4 / 4.2 A
絶縁階級 E 種
保護装置 オートカット

極 数 4 P
周 波 数 50/60 Hz
始 動 電 流 13.2/11.7 A
始 動 方 法 直 入

3. 付 属 品

(1) ケーブル VCT 1.25 mm² × m × 4 心 外径 φ 11.5 (動力用) … 1 本

(2) 自動接続セット

・コネクション…………… 1 組
・スライド…………… 1 組
・シャックル…………… 1 組

・ガイドホルダ…………… 1 組
・チェーン…………… (6m) 1 本

(3) ベルマウス…………… 1 組

4. 付 属 書 類

性能曲線図 (50Hz) …… Y 8 2 7 3 1
外形寸法図 …… P 6 4 9 7 3
材 質 表 …… P 0 8 8 5 1

性能曲線図 (60Hz) …… Y 8 2 7 3 2
構造断面図 …… P 0 8 8 5 0
接続部 (構造断面図) …… H 1 5 5 4 3

5. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準は、J I S B 8 3 0 1 によるものとします。
吐出し量、全揚程については、判定基準 1 によるものとします。

CY-53765

製 図 DWG.	(製)	名 称 TITLE	ACVL501 - P 6 5 B (0.75kW)	図 番 DWG NO.	S 4 7 2 8 9
検 図 JUDG.	(検)	仕 様 書			
承認 APPD.	(認)				

水中汚水汚物ポンプ
(ベルマウス付)

1. ポンプ

形 式	ACVL651	吐 出 口 径	65 mm
吐 出 量	0.3 m ³ /min	揚 程	5.5 m
羽根車番号	—	接 続 型 番	P65
ポンプ重量	52 kg	接続型番セット重量	24.0 kg
		コネクション重量	15.0 kg

2. 電動機

種 類	乾式三相カゴ形誘導電動機		
定格出力	1.5 kW	極 数	4 P
定格電圧	200 V	周 波 数	50/60 Hz
定格電流	6.9/6.7 A	始動電流	32.4/29.4 A
絶縁階級	E 種	始動方法	直 入
保護装置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器		

3. 標準付属品

(1)ケーブル	VCT 1.25 mm ² × m × 4 心 外径 φ11.5 (動力用).....	1本
	2PNCT 1.25 mm ² × m × 2 心 外径 φ 9.8 (制御用).....	1本
	2PNCT 2.0 mm ² × m × 1 心 外径 φ 6.5 (制御用).....	1本

(2)自動接続セット

・コネクション	1組	・ガイドホルダ	1組
・スライド	1組	・チェーン	(6m)1本
・シャックル	1組	(3)ベルマウス.....	1組

4. 付属書類

性能曲線図(50Hz).....	Y 8 2 7 3 3	性能曲線図(60Hz).....	Y 8 2 7 3 4
外形寸法図	P 6 3 6 1 9	構造断面図	P 6 0 4 5 0
材 質 表	P 6 3 6 2 0	接続部(構造断面・材質表) H 6 1 5 0 4	
保護装置仕様書.....	S 6 4 7 9 1	浸水検知器仕様書.....	S 7 6 5 9 9
		結 線 図	H 1 7 8 1 9

5. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準は J I S B 8 3 0 1 によるものとします。
吐出量、全揚程については、判定基準 1 によるものとします。

CY-53761

製 図 DWG.	(7/11)	名 称 TITLE	ACVL651 - P 6 5 (1.5kW)	図 番 DWG NO.	
検 図 JUDG.	(検)	仕 様 書		S 4 6 4 2 8	
承 認 APPD.	(本)				

御注文主
CUSTOMER

数 量
QUANTITY

2 台
SET

三 井 電 機

水中汚水汚物ポンプ
(ベルマウス付)

1. ポンプ

形 式	ACVL 651	吐 出 口 径	65 mm
吐 出 量	0.3 m ³ /min	揚 程	7.0 m
羽根車番号	-	接 続 型 番	P 65
ポンプ重量	52 kg	接続型番セット重量	24.0 kg
		コネクション重量	15.0 kg

2. 電動機

種 類	乾式三相カゴ形誘導電動機		
定格出力	1.5 kW	極 数	4 P
定格電圧	200 V	周 波 数	50/60 Hz
定格電流	6.9/6.7 A	始動電流	32.4/29.4 A
絶縁階級	E 種	始動方法	直 入
保護装置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器		

3. 標準付属品

(1) ケーブル	VCT 1.25 mm ² × 10 m × 4 心 外径 φ 11.5 (動力用).....1本		
	2PNCT 1.25 mm ² × 10 m × 2 心 外径 φ 9.8 (制御用).....1本		
	2PNCT 2.0 mm ² × 10 m × 1 心 外径 φ 6.5 (制御用).....1本		
(2) 自動接続セット			
・ コネクション	1組	・ ガイドホルダ	1組
・ スライド	1組	・ チェーン	(6m)1本
・ シャックル	1組	(3) ベルマウス.....	1組

4. 付属書類

性能曲線図(60Hz).....	Y 8 2 7 3 4
外形寸法図	P 6 3 6 1 9
材 質 表	P 6 3 6 2 0
保護装置仕様書.....	S 6 4 7 9 1
構造断面図	P 6 0 4 5 0
接続部(構造断面・材質表) H 6 1 5 0 4	
浸水検知器仕様書.....	S 7 6 5 9 9
結 線 図	H 1 7 8 1 9

5. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準は J I S B 8 3 0 1 によるものとします。

吐出量、全揚程については、判定基準 1 によるものとします。

製 図
DWG.
検 図
JUDG.
承認
APPD.

三 井 電 機

名 称
TITLE

ACVL-651 - P 6 5 (1.5kW)
仕 様 書

図 番
DWG NO.

S 4 6 4 2 8

御 社 文 主
CUSTOMER

米 子 市 様

数 量
QUANTITY2 台
SET

奈喜良2号M802

水中汚水汚物ポンプ
(ベルマウス付)

1. ポンプ

形 式	65 ACVL	吐出し口径	65 mm
吐出し量	0.3 m ³ /min	揚 程	5.6 m
羽根車番号	—	接 続 型 番	P 65
ポンプ重量	52 kg	接続形番セット重量	24.0 kg
		コネクション 重量	15.0 kg

2. 電 動 機

種 類	乾式三相力ゴ形誘導電動機		
定格出力	1.5 kW	極 数	4 P
定格電圧	200 V	周 波 数	50/60 Hz
定格電流	6.9/6.7 A	始 動 電 流	32.4/29.4 A
絶縁階級	E 種	始 動 方 法	直 入
保護装置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器		

3. 付 属 品

(1) ケーブル	VCT 1.25 mm ² × 30 m × 4 心 外径 φ 11.5 (動力用) …… 1 本
	2PNCT 1.25 mm ² × 30 m × 2 心 外径 φ 9.8 (制御用) …… 1 本
	2PNCT 2.0 mm ² × 30 m × 1 心 外径 φ 6.5 (制御用) …… 1 本
(2) 自動接続セット	
・コネクション……………1組	・ガイドホルダ……………1組
・スライド……………1組	・チェーン……………(6m) 1本
・シャックル……………1組	(3) ベルマウス……………1組

4. 付 属 書 類

外形寸法図……………P 99074	性能曲線図(60Hz)……………Y 82734
材 質 表……………P 99022	構造断面図……………P 98548
保護装置仕様書……………S 64791	接続部(構造断面図)……………H 61504
	浸水検知器仕様書……………S 76599
	結 線 図……………H 17819

5. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準は、JIS B 8301によるものとします。

吐出し量、全揚程については、判定基準1によるものとします。

製 図 DWG.	検 査 JUDG.	承認 APPD.	名 称 TITLE	図 番 DWG No.
			65 ACVL (1.5 kW)	
			仕 様 書	SS2096

御注文主
CUSTOMER

米子市役所 殿

数 量
QUANTITY

2

台
SET

M3902

(二本木MP)

工事件名: 農業集落排水事業地区マンホールポンプ設備その1工事

1. ポンプ

形 式	CVL651	吐出し口径	65	mm	
吐出し量	0.453 m³/min	全 揚 程	5.1	m	
羽根車番号	CVL15-2S	接 続 型 番	P65G		
ポンプ質量	52	kg	接続型番セット質量	24.0	kg
塗 装	ターボ® 杉樹脂塗料(3回塗)	コネクション質量	15.0	kg	

2. 電 動 機

種 類	乾式水中形誘導電動機				
定格出力	1.5	kW	極 数	4	P
定格電圧	200	V	周 波 数	60	Hz
定格電流	6.7	A	始 動 電 流	29.4	A
絶縁階級	E	種	始 動 方 式	直 入	
ハブリング形式	上部：6203ZZ C3		下部：6306ZZ C3		
保護装置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器				

3. 付 属 品

(1) ケーブル	VCT 1.25 mm ² × 20m × 4 心 外径 φ 11.5(動力用)	1本/1台
	2PNCT 1.25 mm ² × 20m × 2 心 外径 φ 9.8(制御用)	1本/1台
	2PNCT 2.0 mm ² × 20m × 1 心 外径 φ 6.5(制御用)	1本/1台

(2) 自動接続セット

・コネクシオン	1組/1台	・ガイドホルダ(SCS13)	1組/1台
・スライド	1組/1台	・チェーン(SUS304 × 6 m)	1本/1台
・シャックル	1組/1台		

(3) ペルマウス(SUS304) 1組/1台

4. 付属書類

性能曲線図	Y82734	外形寸法図	AL6391
構造断面図	P98548	材 質 表	P99022
接続部(構造断面・材質表)	AL1012	保護装置仕様書	S64791
浸水検知器仕様書	S76599	結 線 図	H17819

5. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準はJIS B8301(1990)によるものとします。

吐出し量、全揚程については、判定基準1によるものとします。

製 図
DWG.
検 査
JUDG.
承認
APPD.堀 部
家 弓
家 弓05-03-24
05-03-24
05-03-24名 称
TITLE

仕 様 書

図 番
DWG No.

1S4086T

御注文主
CUSTOMER

米子市役所 殿

数 量
QUANTITY

2

台
SET

M7401 (二本木東3号MP)

工事件名: 農業集落排水事業地区マンホールポンプ設備その1工事

1. ポンプ

形 式	CVC65	吐出し口径	65	mm	
吐出し量	0.160 m ³ /min	全 揚 程	10.3	m	
羽根車番号	CVC15-2S	接 続 型 番	P65G		
ポンプ質量	41.5	kg	接続型番セット質量	24.0	kg
塗 装	タール・杉樹脂塗料(3回塗)	コネクション質量	15.0	kg	

2. 電動機

種 類	乾式水中形誘導電動機				
定格出力	1. 5	kW	極 数	4	P
定格電圧	2 0 0	V	周 波 数	6 0	Hz
定格電流	6. 7	A	始 動 電 流	2 9. 4	A
絶縁階級	E 種		始 動 方 式	直 入	
ベアリング形式	上部：6203ZZ C3		下部：6306ZZ C3		
保護装置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器				

3. 付 属 品

(1) ケーブル	VCT	1.25 mm ² × 20m × 4 心	外径 φ 11.5(動力用)	1本/1台
	2PNCT	1.25 mm ² × 20m × 2 心	外径 φ 9.8(制御用)	1本/1台
	2PNCT	2.0 mm ² × 20m × 1 心	外径 φ 6.5(制御用)	1本/1台

(2) 自動接続セット

・コネクション	1組/1台	・ガイドホルダ(SCS13)	1組/1台
・スライド	1組/1台	・チェーン(SUS304×6m)	1本/1台
・シャックル	1組/1台		

(3) ペルマウス(SUS304) 1組/1台

4. 付属書類

性能曲線図	Y21036	外形寸法図	AM4123
構造断面図	AL6396	材 質 表	AL6397
接続部(構造断面・材質表)	AL1012	保護装置仕様書	S64791
浸水検知器仕様書	S76599	結 線 図	H17819

5. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準はJIS B8301(1990)によるものとします。

吐出し量、全揚程については、判定基準1によるものとします。

製 図 DWG.	堀 部	05-03-24	名 称 TITLE	仕 様 書	図 番 DWG No.
検 図 JUDG.	家 弓	05-03-24			
承 認 APPD.	家 弓	05-03-24			
					1 S 0 3 4 8 T

御注文主
CUSTOMER

米子市役所 殿

数 量
QUANTITY

2

台
SET

M3904

(箕1号MP)

工事件名: 農業集落排水事業地区マンホールポンプ設備その1工事

1. ポンプ

形 式	CVL651	吐出し口径	65	mm
吐出し量	0.462 m ³ /min	全 揚 程	4.0	m
羽根車番号	CVL15-2S	接 続 型 番	P65G	
ポンプ質量	52 kg	接続型番セット質量	24.0	kg
塗 装	ターボ杉樹脂塗料(3回塗)	コネクション質量	15.0	kg

2. 電動機

種	類	乾式水中形誘導電動機			
定格出力	1.5	kW	極 数	4	P
定格電圧	200	V	周 波 数	60	Hz
定格電流	6.7	A	始 動 電 流	29.4	A
絶縁階級	E 種		始 動 方 式	直 入	
ベアリング形式	上部：6203ZZ C3		下部：6306ZZ C3		
保護装置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器				

3. 付 属 品

(1) ケーブル	VCT	1.25 mm ² × 20m × 4 心	外径 φ 11.5(動力用)	1本/1台
	2PNCT	1.25 mm ² × 20m × 2 心	外径 φ 9.8(制御用)	1本/1台
	2PNCT	2.0 mm ² × 20m × 1 心	外径 φ 6.5(制御用)	1本/1台

(2) 自動接続セット

・コネクション	1組/1台	・ガイドホルダ(SCS13)	1組/1台
・スライド	1組/1台	・チェーン(SUS304 × 6 m)	1本/1台
・シャックル	1組/1台		

(3) ベルマウス(SUS304) 1組/1台

4. 付属書類

性能曲線図	Y82734	外形寸法図	AL6391
構造断面図	P98548	材 質 表	P99022
接続部(構造断面・材質表)	AL1012	保護装置仕様書	S64791
浸水検知器仕様書	S76599	結 線 図	H17819

5. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準はJISB8301(1990)によるものとします。

吐出し量、全揚程については、判定基準1によるものとします。

製 図
DWG.
検 図
JUDG.
承認
APPD.堀 部
家 弓
05.03.24

05.03.24

名 称
TITLE

仕 様 書

図 番
DWG No.

1S4086T

御注文主 CUSTOMER	数量 QUANTITY	2	台 SET	大谷マンホールポンプ
------------------	----------------	---	----------	------------

1. ポンプ			
形 式	CVC80	吐出し口径	80 mm
吐出し量	0.383 m ³ /min	揚 程	5.6 m
羽根車番号	CVC15-2S	接続型番	
ポンプ質量	46 kg		
塗 装	ターフ・杉樹脂塗料(3回塗)		

2. 電動機			
種 類	乾式水中形誘導電動機		
定格出力	1.5 kW	極 数	4 P
定格電圧	200 V	周 波 数	60 Hz
定格電流	6.7 A	始動電流	29.4 A
絶縁階級	E 種	始動方式	直 入
ベアリング型式	上部：AC 6203ZZ C3	下部：6306ZZ C3	
保護装置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器		

3. 付 属 品 (着脱装置は付属しておりません。)

(1) ケーブル	VCT	1.25 mm ² × 20m × 4 心	外径 φ11.5 (動力用)	 1本/1台
	2PNCT	1.25 mm ² × 20m × 2 心	外径 φ 9.8 (制御用)	 1本/1台
	2PNCT	2.0 mm ² × 20m × 1 心	外径 φ 6.5 (制御用)	 1本/1台
(3) ベルマウス(SUS304)	 1組/1台			

4. 付属書類

性能曲線図	 Y21038	外形寸法図	 AL7954
構造断面図	 AL6396	材 質 表	 AL6397
		保護装置仕様書	 S64791
浸水検知器仕様書	 S76599	結 線 図	 H17819

5. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準はJIS B 8301 (1990) によるものとします。

吐出し量、全揚程については、判定基準1によるものとします。

製 図 DWG.	土 岐	・ ・	名 称 TITLE	仕 様 書	図 番 DWG No. 1S0963T
検 図 JUDG.	家 弓	・ ・			
承認 APPD.	家 弓	・ ・			

SUV形水中ボルテックスポンプ外形寸法図

[吸込ノズル付]

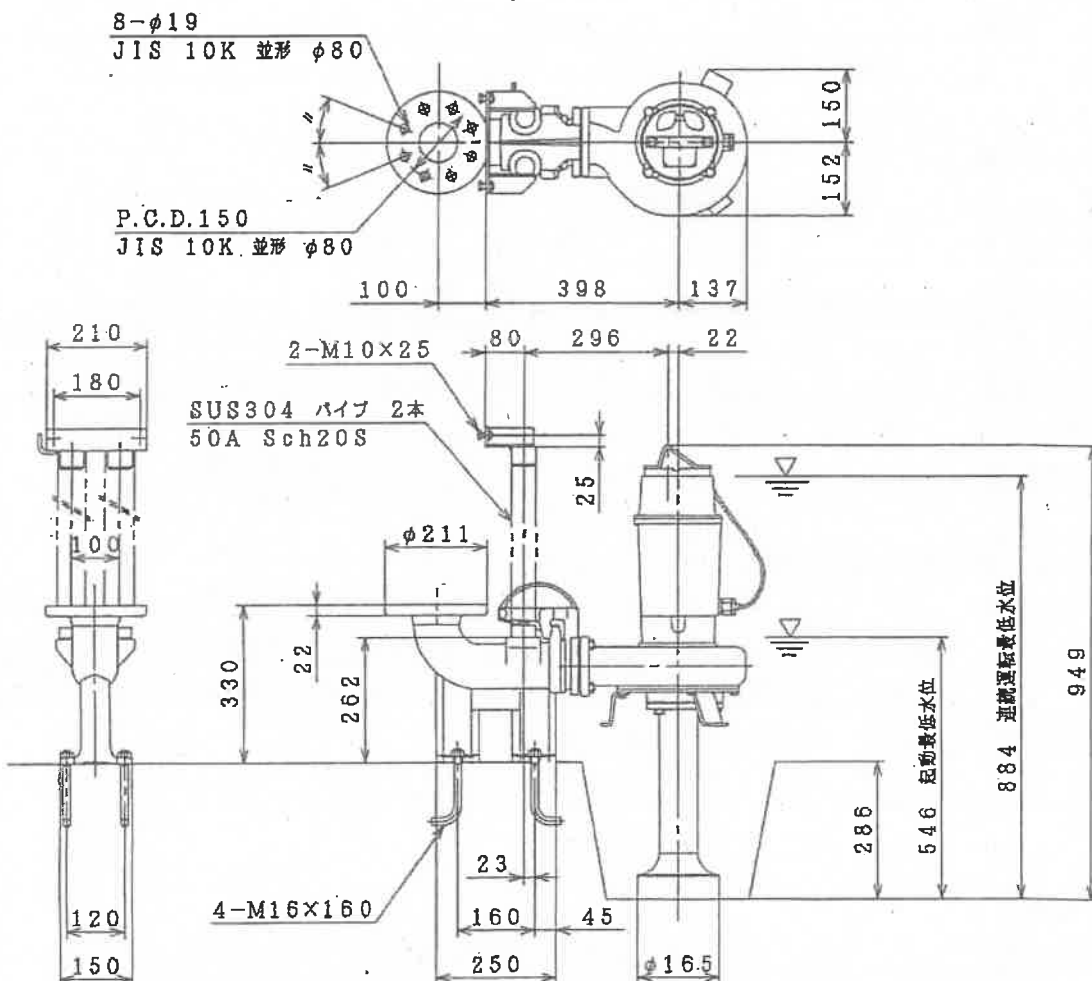
名称

機器番号 尾高5号(M70402)

数量

2

形式 TYPE FORM	SUV	モートル形式 MOTOR TYPE	乾式三相力ゴ形誘導電動機
型番 MODEL NUMBER	80-61.5LQ	出力 MOTOR OUTPUT	1.5 (kW)
吸込口径 SUCTION BORE	— (mm)	周波数 FREQUENCY	60 (Hz)
吐出し口径 DISCHARGE BORE	80 (mm)	極数 POLES	4 (P)
段数 NOS. OF STAGE	1	電圧 VOLTAGE	200 (V)
ポンプ総質量 Wt. (PUMP)	52 (kg)	電流 CURRENT	6.7 (A)
		吐出し量 CAPACITY	0.159 (m³/min)
		全揚程 TOTAL HEAD	4.8 (m)
		回転速度 SPEED	1800 (min⁻¹)
		接続部総質量 Wt. (CONNECTION SET)	38.5 (kg)



注意) 1. ポンプを起動最低水位で運転する場合は、30分以内に制限してください。

2. 連続運転の場合は、指定の連続運転最低水位を確保してください。

付属品) 1. ケーブル : VCT 1. 25SQ×20 m×4芯×1本 外径φ11.5 (動力用)
2PNCT 1. 25SQ×20 m×2芯×1本 外径φ9.8 (制御用)
2PNCT 2.0 SQ×20 m×1芯×1本 外径φ6.5 (浸水検知器用)

備考) 2. チェーン : 6m (SUS304)

1. 耐熱クラス:E

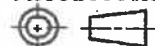
2. 保護装置 : マイクロサーマルプロテクタ、浸水検知器

3. 始動方式 : 直入始動

4. ガイドパイプは、メーカー納入範囲外です。

単位: mm S=1/15

PROJECTION



御注文主 CUSTOMER

殿

数量 QUANTITY

2

受注番号 ORDER No.

F762-0009

作業番号 WORK No.

M40162

DWN A. KOMIYAMA

CHKD T. MIYOSHI

APPD T. OHBA

SUV形水中ボルテックスポンプ
外形寸法図

Hitachi Plant Technologies
Tokyo Japan

NARASHINO WORKS DWG. No.

324

4Q801108

訂正
番号
REV

御注文主 CUSTOMER	数 量 QUANTITY	2	台 SET	橋本No.1マンホールポンプ																																																												
1. ポンプ <table border="1"> <tr> <td>形 式</td> <td>CVC80</td> <td>吐出し口径</td> <td>80</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>吐出し量</td> <td>0.148 m³/min</td> <td>揚 程</td> <td>7.6</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>羽根車番号</td> <td>CVC15-2S</td> <td>接 続 型 番</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ポンプ質量</td> <td>46</td> <td>kg</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>塗 装</td> <td colspan="4">ターフ・杉樹脂塗料(3回塗)</td> </tr> </table> 2. 電 動 機 <table border="1"> <tr> <td>種 類</td> <td colspan="4">乾式水中形誘導電動機</td> </tr> <tr> <td>定 格 出 力</td> <td>1.5</td> <td>kW</td> <td>極 数</td> <td>4 P</td> </tr> <tr> <td>定 格 電 圧</td> <td>200</td> <td>V</td> <td>周 波 数</td> <td>60 Hz</td> </tr> <tr> <td>定 格 電 流</td> <td>6.7</td> <td>A</td> <td>始 動 電 流</td> <td>29.4 A</td> </tr> <tr> <td>絶 縁 階 級</td> <td>E 種</td> <td></td> <td>始 動 方 式</td> <td>直 入</td> </tr> <tr> <td>ベアリング型式</td> <td colspan="2">上部：AC 6203ZZ C3</td> <td colspan="2">下部：6306ZZ C3</td> </tr> <tr> <td>保 護 装 置</td> <td colspan="4">マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器</td> </tr> </table> 3. 付 属 品 (着脱装置は付属していません。) (1) ケーブル VCT 1.25 mm² × 20m × 4 心 外径 φ11.5 (動力用) 1本/1台 2PNCT 1.25 mm² × 20m × 2 心 外径 φ 9.8 (制御用) 1本/1台 2PNCT 2.0 mm² × 20m × 1 心 外径 φ 6.5 (制御用) 1本/1台 (3) ベルマウス(SUS304) 1組/1台 4. 付属書類 性能曲線図 Y21038 外形寸法図 AL7954 構造断面図 AL6396 材 質 表 AL6397 保護装置仕様書 S64791 浸水検知器仕様書 S76599 結 線 図 H17819 5. 性能判定基準 ポンプ性能の判定基準はJISB8301(1990)によるものとします。 吐出し量、全揚程については、判定基準1によるものとします。					形 式	CVC80	吐出し口径	80	mm	吐出し量	0.148 m ³ /min	揚 程	7.6	m	羽根車番号	CVC15-2S	接 続 型 番			ポンプ質量	46	kg			塗 装	ターフ・杉樹脂塗料(3回塗)				種 類	乾式水中形誘導電動機				定 格 出 力	1.5	kW	極 数	4 P	定 格 電 圧	200	V	周 波 数	60 Hz	定 格 電 流	6.7	A	始 動 電 流	29.4 A	絶 縁 階 級	E 種		始 動 方 式	直 入	ベアリング型式	上部：AC 6203ZZ C3		下部：6306ZZ C3		保 護 装 置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器			
形 式	CVC80	吐出し口径	80	mm																																																												
吐出し量	0.148 m ³ /min	揚 程	7.6	m																																																												
羽根車番号	CVC15-2S	接 続 型 番																																																														
ポンプ質量	46	kg																																																														
塗 装	ターフ・杉樹脂塗料(3回塗)																																																															
種 類	乾式水中形誘導電動機																																																															
定 格 出 力	1.5	kW	極 数	4 P																																																												
定 格 電 圧	200	V	周 波 数	60 Hz																																																												
定 格 電 流	6.7	A	始 動 電 流	29.4 A																																																												
絶 縁 階 級	E 種		始 動 方 式	直 入																																																												
ベアリング型式	上部：AC 6203ZZ C3		下部：6306ZZ C3																																																													
保 護 装 置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器																																																															
製 図 DWG.	土 岐	・ ・	名 称 TITLE		図 番 DWG No.																																																											
検 図 JUDG.	家 弓	・ ・																																																														
承 認 APPD.	家 弓	・ ・																																																														
仕 様 書					1S0963T																																																											

ヒドロスタル水中ポンプ製作仕様書						大平洋機工株式会社			
工事名称 農業集落排水事業 五千石地区マンホールポンプ製作据付工事						日付	H8.12.27		
御契約先 米子市役所 殿						図番	7153417		
納入先						承認	工野		
機器番号		ポンプ名称				作成	坂 凡		
		八幡 1号マンホールポンプ				ポンプ形状	スクリーウ渦巻型		
台数	2台	ポンプ形式	D3K-L-1.56			口径	吸入側 吐出側 100 mm 80 mm		
ポンプ仕様	吐出量	0.46 m³/min	軸動力(清水)	— kW		口径			
	全揚程	4.0 m	軸動力(揚液)	— kW					
	回転速度	1710 rpm							
揚液仕様	名称	汚 水	液温	常温 RT℃		ポンプ回転方向	電動機側から見て時計回り		
			比重	1.0					
			濃度	— %wt					
要部材質	ケーシング	FC250		塗装	タールエポキシ樹脂塗料 (当社標準)				
	サクシヨナライナー	FC250							
	羽根車	SCS13							
	主軸	SUS420J2							
電動機要目	製作所名	大平洋機工		電圧	200 V				
	型式	DK2R4T		絶縁種別	F 種				
	出力	1.5 kW		周波数	50 (60) Hz				
	同期速度	1800 rpm		極数	4 P				
概略重量		添付図面番号		付属品 (1台に付)					
ポンプ (電動機含む)	140 kg	予想性能曲線	PPE-7153417		名称	数量	材質	寸法	備考
		外形寸法図	96A1-7153417		ケーブル	1	2PNC1	8芯x1.25 mm²x20m	
		組立断面図	96B1-7153417						
		接続図	96E1-7153417						
		電気接点リスト	接続図参照		主チェーン	1S	SUS304	φ8-5m	シャックル付
		メカニカルシール	組立断面図参照		補助チェーン	1S	SUS304	φ6-1.5m	シャックル付
		潤滑油リスト	96D1-7153417		ガイドスタンド	1	FC250	80x80	JIS10KF
		塗装仕様書	91D2-NE0910		ガイドフランジ	1	FC250		
		ガイドスタンド	NE-PCD015AJ		ガイドホルダー	1S	SCS13 HR		
		ガイドホルダー	96D3-7153417		ガイドレール	2	SUS304	40ASchH10S	客先手配(株者)
	銘板	NE-8583		ベルマウス	1	SUS304	PE502N	ゴムパッキン付	
	分解器具リスト	HDS-TL-D02		取付ボルト	4S	SUS304	M20x55	客先手配	
	以下余白			予旋回槽	1/1台	FRP+RC	PE502	客先手配	
				マンホール	1/1台	RC	3号		
				鉄蓋	2	FCD	φ600		
				配管類	1/1台	SUS304			
				アボルト	3/4台	SUS304	M12	客先手配	
				分解器具	1/1台				
				以下余白					
予備品	名称	数量	材質	寸法	備考				
(1台に付)									
※印は今回付属品では有りません。									
訂正	内 容		日付	氏名					

注文主
CUSTOMER数量
QUANTITY2台
SET

M7106 奥谷三孝

水中汚水汚物ポンプ (ベルマウス付)

1. ポンプ

形 式	ACV80	吐出し口径	65 mm
吐出し量	0.3 m ³ /min	揚 程	10.5 m
羽根車番号	22-2	接続型番	P65
ポンプ重量	65 kg	接続形番セット重量	24.0 kg
		コネクション 重量	15.0 kg

2. 電動機

種 類	乾式三相力ゴ形誘導電動機		
定格出力	2.2 kW	極 数	4 P
定格電圧	200 V	周 波 数	50/60 Hz
定格電流	10.1/9.6 A	始 動 電 流	50.5/47.0 A
絶縁階級	E 種	始 動 方 法	直 入
保護装置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器		

3. 付属品

(1) ケーブル	VCT	1.25 mm ² × 20m × 4心	外径 φ 11.5 (動力用) …… 1本
	2PNCT	1.25 mm ² × 20m × 2心	外径 φ 9.8 (制御用) …… 1本
	2PNCT	2.0 mm ² × 20m × 1心	外径 φ 6.5 (制御用) …… 1本
(2) 空気抜きバルブ			
(3) 自動接続セット			
・コネクション	1組	・ガイドホルダ	1組
・スライド	1組	・チェーン	(6m) 1本
・シャックル	1組	(4) ベルマウス	1組

4. 付属書類

外形寸法図	AL1049	性能曲線図 (60Hz)	Y81730
材質 表	P99802	構造断面図	P98526
保護装置仕様書	S64791	接続部 (構造断面図)	H61684
		浸水検知器仕様書	S76599
		結 線 図	H17819

5. 性能判定基準

ポンプ性能の判定基準は、JIS B 8301によるものとします。

吐出し量、全揚程については、判定基準1によるものとします。

製 図
DWG.
検 査
JUDG.
承認
APPD.



名称
TITLE

ACV80 - P65 (2.2kW)

仕 様 書

図 番
DWG No.

SS2095

株式会社 栗村製作所

CY-54724

D26059P

御注文主
CUSTOMER

米子市様

数量
QUANTITY

2 台
SET

吉谷1号M7801

水中汚水汚物ポンプ (ベルマウス付)

1. ポンプ

形 式	65 ACV	吐出し口径	65 mm
吐出し量	0.3 m ³ /min	揚 程	8.5 m
羽根車番号	—	接続型番	P65
ポンプ重量	65 kg	接続形番セット重量	24.0 kg
		コネクション 重量	15.0 kg

2. 電動機

種 類	乾式三相力コ形誘導電動機	極 数	4 P
定格出力	2.2 kW	周 波 数	50/60 Hz
定格電圧	200 V	始 動 電 流	50.5/47.0 A
定格電流	10.1/9.6 A	始 動 方 法	直 入
絶縁階級	E 種		
保護装置	マイクロサーマルプロテクタ・浸水検知器		

3. 付属品

(1) ケーブル	VCT	1.25 mm ² × 30 m × 4 心	外径 φ 11.5 (動力用) …… 1 本
	2PNCT	1.25 mm ² × 30 m × 2 心	外径 φ 9.8 (制御用) …… 1 本
	2PNCT	2.0 mm ² × 30 m × 1 心	外径 φ 6.5 (制御用) …… 1 本
(2) 空気抜きバルブ			
(3) 自動接続セット			
・コネクション	……………	1 組	・ガイドホルダ…………… 1 組
・スライド	……………	1 組	・チェーン…………… (6 m) 1 本
・シャックル	……………	1 組	(4) ベルマウス…………… 1 組

4. 付属書類

外形寸法図	…… AL1049	性能曲線図 (60Hz)	…… Y81730
材質表	…… P99802	構造断面図	…… P98526
保護装置仕様書	…… S64791	接続部 (構造断面図)	…… H61684
		浸水検知器仕様書	…… S76599
		結 線 図	…… H17819

5. 性能判定基準

・ポンプ性能の判定基準は、JIS B8301によるものとします。
吐出し量、全揚程については、判定基準1によるものとします。

製 図 DWG.	検 査 JUDG.	承認 APPD.	名称 TITLE	図 番 DWG No.
			65 ACV (2.2 kW)	
			仕 様 書	SS2095

DZ10798

ヒドロスタル水中ポンプ製作仕様書										大平洋機工株式会社	
工事名称										日付	
御契約先 米子市役所 殿										図番	7133404
納入先										承認	真
機器番号										作成	ju
ポンプ名称 橋本 16.2 マンホールポンプ										ポンプ形状	スクリーウ渦巻型
台数	2 台	ポンプ形式	D3K-S-3.76								
ポンプ仕様	吐出量	0.882	m ³ /min	軸動力(清水)	—	kW	口径	吸込側	吐出側		
	全揚程	9.0	m	軸動力(揚液)	—	kW		100 mm	80 mm		
	回転速度	1740	rpm						100		
揚液仕様	名称	汚水	液温	常温	—	℃	ポンプ回転方向	電動機側から見て時計回り			
			比重	—		シール方式		メカニカルシール			
			濃度	—	%wt						
要部材質	ケーシング	FC250		羽根車フランジ	—		塗装	タールエポキシ樹脂塗料			
	サクションライナー	FC250		本体ホルト	SUS304			(当社標準)			
	羽根車	FCD		付属ホルト	SUS304						
	主軸	SUS420J2									
電動機要目	製作所名	大平洋機工		電圧	200 V		定格電流	13.0 A			
	型式	DK3A4J		絶縁種別	F 種		起動方式	(直入)・△△			
	出力	3.7 kW		周波数	50・60 Hz		運転定格	30分・連続			
	同期速度	1800 rpm		極数	4 P						
概略重量		162 kg		添付図面番号		付属品 (1台に付)					
ポンプ (電動機含む)	予想性能曲線	PPE-7133404		名称	数量	材質	寸法	備考			
	外形寸法図	94A1-7133404		ケーブル	1	2RNC	8芯×2.0mm ² ×20m				
	組立断面図	94B1-7133404									
	接続図	94E1-7133404									
	電気接点リスト	94E2-7133404		主チェーン	1 ^s	SUS304	φ8-6.0m	シャックル付			
	メカニカルシール	94B2-7133404		補助チェーン	1 ^s	SUS304	φ6-1.5m	シャックル付			
	潤滑油リスト	94B1-7133404		ガイドスタンド	1	FC250	80×100	JIS10K ¹			
	塗装仕様書	9192-NE0710		ガイドフランジ	1	FC250					
	ガイドスタンド類	NE-DK1177AJ		ガイドホルダー	1 ^s	SUS304	40ASch10S	客先手配			
	ガイドホルダー	NE-DK1202		ガイドレール (2)		SUS304	40ASch10S	客先手配			
銘板	NE-8583		ヘルマウス	1	SUS304	PE502	ゴムパッキンφ=116×15 JIS10K ¹				
水栓材料	94B3-7133404		ガイドフランジ	4 ^s	SUS304	N20×80 SW.14					
以下余白			予旋回槽	1/2	FRP+RC	PE502	φ7133401				
			マンホール	1/2	RC	3号	1に付配管				
			鉄蓋	2	FCD	φ600					
			アイボルト	3/4	SUS304	M12	160×230mmに付配管				
			以下余白								
予備品 (1台に付)	名称	数量	材質	寸法	備考						
※印は今回付属品ではありません。											
訂正	内		容		日付	氏名					

(No.1ポンプ更新)

[No.1ポンプ]

工事名: H28年度 奥谷1号マンホールポンプ場
No.1ポンプ補修工事

SY

羽根車材質: SCS13

ShinMaywa
Brighten Your Future

御注文主 CUSTOMER	数 量 QUANTITY	1	台 SET	ハネSCS13
------------------	-----------------	---	----------	---------

1. ポンプ			
型 式	CW100	吐出し口径	100 mm
吐出し量	1.52 m ³ /min	全 揚 程	17.8 m
羽根車番号	2S	既設着脱型式	P100B
ポンプ質量	130 kg		

2. 電動機			
種 類	乾式水中形誘導電動機	極 数	4 P
定格出力	7.5 kW	周 波 数	60 Hz
定格電圧	三相200 V	始動電流	171 A
定格電流	32.5 A	始動方式	ダイレクト
絶縁階級	E 種		
ヘアリング型式 上部:	6305ZZ	下部:	6310ZZ
保護装置	マイクサ-マルボロタ(MTP)・浸水検知器		

3. 付属品			
(1) ケーブル	20 m		
VCT	5.5 mm ² × 4 心 × 外径 φ16.5 (動力用)		1 本
2PNCT	1.25 mm ² × 2 心 × 外径 φ9.8 (制御用)		1 本
2PNCT	2.0 mm ² × 1 心 × 外径 φ6.5 (制御用)		1 本
(2) 空気抜きバルブ			
(3) スライ	... 1組/1台		
(4) シヤッフル(SUS304)	... 1組/1台		
(5) チェーン(6m-SUS304)	... 1本/1台		

4. 性能判定基準			
ポンプ性能の判定基準は、JIS B 8301(1990)によるものとします。			
吐出し量、全揚程については、判定基準1によるものとします。			

225 2548 01035000	製図 DWG.	槇尾	15-12-04	名 称 TITLE	仕 様 書	図番 DWG No.
	検図 JUDG.	赤松	15-12-04			B01AB1934
H1112N1K3	承認 APPD.	赤松	15-12-04			

BFM80040-02

新明和工業株式会社

ShinMaywa Industries, Ltd.